

# 研究会開催通知

(昭和 54 年 3 月 15 日～4 月 30 日)

研究会	日 時		会 場	備 考
記号処理	3月16日(金)	13:00～17:00	機械振興会館	前号参照
イメージ・プロセッシング	3月20日(火)	14:00～17:00	東大生研	同上
マイクロコンピュータ	3月26日(月)	13:00～17:00	機械振興会館	同上
ソフトウェア工学	3月29日(木)	11:00～17:00	京 大	下記参照
	3月30日(金)	11:00～17:00	京都産業大学	同上

(注) ソフトウェア工学研究会は前号に掲載しましたが、その後一部に訂正がありましたので、再度掲載します。

## ◆ 第 9 回 ソフトウェア工学研究会

(主査：国井利泰，代表幹事：大野俊郎，原田賢一，斎藤信男)

日 時 54 年 3 月 29 日 (木) 午前 11 時～午後 5 時 京都大学・数理解析研究所  
3 月 30 日 (金) 午前 11 時～午後 5 時 京都産業大学

会 場 京都大学 数理解析研究所  
〔京都市左京区北白川追分町，国鉄：京都駅烏丸口下車，市バス：200 甲錦林車庫行京都大学農学部前下車，Tel. (075) 751-2111〕  
京都産業大学  
〔京都市北区上賀茂本山 36，京都駅（京都タワー前）より市バス：西賀茂行（2 番，9 番）乗り上賀茂神社にて，京都バス：貴船，鞍馬，広河原，静原，市原，産業大学前，花背行に乗り替え，京都産業大学前下車，Tel. (075) 701-2151〕

(3 月 29 日(木) 京都大学)

議 題 (1) 階層化プログラミング言語 SPL の評価

野木兼六，中所武司，林 利弘，森 清三 (日立)

〔概要〕 抽象データ型やインライン手続きの定義機能をもつ階層化プログラミング言語 SPL の使用経験，効果の分析などについて述べる。

(2) SSD の実用化における諸問題について

内田裕士，毛利友治 (富士通研究所)

〔概要〕 ソフトウェア開発支援システム SSD を試用した経験にもとづいて，実用化の際におこった問題点や今後のもとを等を紹介する。

(3) LISP デバック・ツール

黒川利明 (東芝)

〔概要〕 対話的 LISP におけるデバック技法とツールについて，一般的な検討をおこなうとともに INTERLISP と LISP 1.9 の 2 例について具体的に検討する。

(4) 情報工学における空間・構法および設計の論理

大島 進 (東プログラム設計事務所)

〔概要〕 有向族とフィルタを実体とした梯子の数学仮説と称する設計ツールを作り，建築工学における設計仮説と要素設計論と併わせ，空間の構成方法に

関して報告する。

- (5) ソフトウェアプロジェクトの完成遅延 安部城一(日立・SK)  
〔概要〕開発失敗、特に遅延にみいだされる実際の環境と、現象の間の関係を整理し、事前検出の一方法を提案する。

(3月30日(金) 京都産業大学)

- (6) 構造的反証原理について 謝 章文(京都産業大)  
〔概要〕モデル構築のための記号的開放について述べる。
- (7) 論理的プログラム合成と構造的反証原理 謝 章文(京都産業大)  
〔概要〕構造的反証原理にもとづくプログラム合成方法について述べる。
- (8) OL-resolution にもとづく論理的プログラム合成系・パイロットⅡ  
琴野 実、大村伸一、東本謙治、馬渡幸夫、謝 章文(京都産業大)  
〔概要〕OL-resolution を用いた LPS の効率テストシステム・パイロットⅡの紹介。
- (9) 構造的反証原理に基づく論理的プログラム合成系・パイロットⅢ  
大村伸一、琴野 実、馬渡幸夫、東本謙治、謝 章文(京都産業大)  
〔概要〕構造的反証原理を用い、誘導型会議機能を有する LPS の高効率システムパイロットⅢの紹介。

(注) 第9回ソフトウェア工学研究会にご出席予定の方で宿泊でお困りの方は学会事務局(研究会係)へお問い合わせください。

## ※ 研究会からのお知らせ

マイクロコンピュータ研究会について

54年度の開催予定は、6月、9月、12月、3月、となっております。当研究会では関連する分野全般にわたって広く論文を募集中です。

計算機アーキテクチャ研究会について

当研究会では、5月中旬に開催される研究会の発表論文を募集中です。

上記研究会に発表ご希望の方は事務局研究会係までお申込み下さい。

## 昭和 54 年度研究会のお知らせ

昭和 54 年度研究会は、下記の要領で行われます。会員皆様のご参加を期待いたします。

- (1)年間を通して参加の場合は登録（裏面参照）すること。但し本学会員に限ります。
- (2)登録されていない会員の場合は研究会当日聴講料 1,000 円（資料代を含む）を負担をすること。
- (3)研究会で論文発表を希望する会員は主題およびアブストラクト（50 字以内）を学会事務局研究会係まで申し出ること。

研究会名	主査(○印)・代表幹事(○印)	取り扱う研究分野の例
1 計算言語学	○和田 弘（成蹊大） ○西村恕彦（東京農工大） ○長尾 真（京大） ○野崎昭弘（山梨大）	言語理論、言語統計、言語資料、漢字処理、編集組版、情報検索、機械翻訳、辞書構成、構文解析、意味処理、言語行動、人工言語
2 データベース管理システム	○穂鷹良介（筑波大） ○植村俊亮（電総研）	データベース・システムの理論と実験、データ・モデル、巨大データベース、分散型データベース、データベース・コンピュータ、データの作成と保守
3 人工知能と対話技法	○田中幸吉（阪大） ○白井良明（電総研） ○田村進一（阪大）	探索理論、定理証明、問題解決、推論機構、プログラム自動作成・検証、学習理論、知識構造、パターン認識・理解、環境の理解・行動、知的データベース、CAD, CAI etc.への応用、人工知能用ソフトウェアとハードウェア、マン・マシン・コミュニケーション
4 記号処理	○淵 一博（電総研） ○竹内郁雄（電電・武蔵野通研） ○佐々木建昭（理研） ○田中穂積（電総研）	記号処理システムとその応用、数式処理の理論と実際、記号処理用言語、記号処理用ハードウェア
5 ソフトウェア工学	○国井利泰（東大） ○大野尚郎（協同システム開発） ○原田賢一（慶大） ○斎藤信男（慶大）	要求工学、設計方法論、ソフトウェア製品生産方法論、ソフトウェア・ツール、検査・検証論、プロジェクト管理・文書管理論
6 マイクロコンピュータ	○森 亮一（筑波大） ○田島守彦（電総研）	マイクロプロセッサ構成方式、金物系、ソフトウェア系、マルチマイクロプロセッサ系、インタフェース、応用製品、分散系、評価検証法
7 計算機アーキテクチャ	○石井 治（電総研） ○有澤 博（横浜国大） ○内田俊一（電総研）	計算機システム設計、ハードウェア・システム、ソフトウェア・システム、応用システム
8 計算機システムの解析と制御	○高橋延臣（農工大） ○龜田壽天（電通大） ○益田隆司（筑波大）	計算機システム（特にオペレーティングシステム）、計算機複合システムなどの構造論、制御方式（記憶管理、システム資源管理などを含む）、TSS オンラインシステムの性能解析；設計思想の検討、実測データの交換、計算機の経済学
9 医療情報学	○大島正光（医療情報システム開発センター） ○稻田 純（阪大） ○溝口文雄（東理大） ○開原成光（東大病院）	医療情報システム、医療における意志決定理論、医用言語、医用データベース、医用画像処理
10 コンピュータビジョン	○福村晃夫（名大） ○高木幹雄（東大） ○鳥脇純一郎（名大） ○田村秀行（電総研）	画像処理アルゴリズム、データ構造、問題向言語、視覚情報処理システム、画像処理プログラムの蓄積と流通、画像データベース並列処理ハードウェア
11 電子装置設計技術	○加納 弘（日立） ○中林 操（電電・武蔵野通研） ○伊藤 誠（山梨大）	VLSI、電子装置の設計自動化、論理回路の検査・実装設計、システム記述言語・マイクロプログラムサポート、機能シミュレータ、データベースの利用、インターフェイス・デザイン
12 分散処理システム	○元岡 達（東大） ○田中英彦（東大） ○苗村憲司（電電・横須賀通研）	広域分散型、機能分散型、負荷分散型等の分散処理システムの設計と運用、コンピュータネットワーク技術との応用に関する理論と実際

## 情報処理学会研究会新規登録申込書

昭和 年 月 日

下記研究会に登録を申し込みます、

(ご希望の研究会の申込み欄に○印をつけること)

申込み	研究会名	備考	申込み	研究会名	備考
	計算言語学			計算機アーキテクチャ	
	データベース管理システム			計算機システムの解析と制御	
	人工知能と対話技法			医療情報学	
	記号処理			コンピュータビジョン	
	ソフトウェア工学			電子装置設計技術	
	マイクロコンピュータ			分散処理システム	

○申込み会員氏名 \_\_\_\_\_ [正・学・贊] 会員 No. \_\_\_\_\_

○勤務先名・所属 \_\_\_\_\_ Tel. \_\_\_\_\_

所在地 (〒) \_\_\_\_\_

○資料送付先 (上記勤務先以外の場合のみ記入)

(〒) \_\_\_\_\_

○登録費 (1件、年間 2,500 円)

2,500 円 × \_\_\_\_\_ 件 = \_\_\_\_\_ 円也

○払込み日 昭和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

○次のいずれかの方法でご送金下さい。 いずれの場合も必ず登録申込書が必要です。 なお、会社名などで送金の場合は、別途個人名を事務局までお知らせ下さい。

現金書留：登録費と登録申込書を同封のこと。 現金持参 その他

郵便振替：振替用紙に希望研究会名を記入のこと。 口座番号「東京 5-83484」(学会誌 2月号に振替用紙添付)

銀行振込：第一勧銀虎ノ門支店 普通口座 No. 1013945

○備考 情報処理学会の請求書 ( 通), 見積書 ( 通), 納品書 ( 通) が必要です。

### 登録上の注意

- 研究会の登録は本学会員に限ります。 登録費は1研究会あたり年間2,500円です。 登録者には、研究会に欠席の場合資料を郵送します。
- 登録は、登録費の領収をもって正式の受け付けとします。 おそらくとも5月末日までにご登録下さい。 6月以降になると資料を確保しかねます。
- 53年度にいずれかの研究会に登録された方には、直接本人宛に登録の継続および新規申込みについてお問合せしますので、本申込書を利用しないで下さい。

(社) 情報処理学会 研究会係 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 Tel. 03(431) 2808

## 第8回世界コンピュータ会議 (IFIP Congress 80) の論文募集について

1980年10月開催の標記国際会議の論文募集を行っております。1月号にて締切りは本年12月31日と会告しましたが、12月1日の誤りですので、お詫びのうえ訂正いたします。1月号掲載のCall for Papersを参考に、準備を願います。

## 第3回日米コンピュータ会議論文集の頒布

去る10月10日～12日、サンフランシスコ市で開かれた標記国際会議は、日本側49件、米国側48件、計97件の論文が提出され、所期の成果をえて無事終了いたしました。

つきましては、論文集(Proceedings)の残部がありますので、第1回あるいは第2回の日米コンピュータ会議に参加の経験の方を含め、早目にお求めください。

論文の大きさ (国際判 514 pp.)

会員特価 8,600円(郵送の場合700円加算)、ただし一般価格 11,500円(送料共)

申込み先 (社)情報処理学会第3回日米コンピュータ会議  
(電話または、はがきにてお申込ください)

取扱銀行 第一勧業、三菱、住友銀行、各虎ノ門支店(普通預金口座),  
三井銀行日比谷支店(普通預金口座)

## 創立20周年記念論文の公募について

情報処理学会では創立20周年を記念して、下記により「記念論文」を公募することになりました。会員の皆様には奮って応募されますようご案内いたします。

### 1. 応募資格

情報処理学会の会員(正会員又は学生会員)であること。応募論文は下記の部門に分けて審査する。

第1部門 昭和54年3月末現在の学生会員又は30歳未満の正会員を対象とする。

第2部門 第1部門以外の正会員を対象とする。

ただし、同一論文に第1、第2両部門の対象となる会員が含まれる場合は

第2部門として取扱う。

## 2. 論文の性格と書き方

- ア. 情報処理に関するオリジナルな論文であること。
- イ. 「情報処理」原稿執筆案内の書き方によるが、制限ページ数は12ページとする。ただし、論文はできるだけ簡潔にまとめることが望ましい。
- ウ. 論文は邦文に限る。
- エ. 論文には応募資格部門を明記すること。
- オ. 論文は正論文1部およびコピー5部を提出すること。

## 3. 応募方法と論文の書き方

- ア. 応募論文の受付期間は昭和54年1月1日から8月31日までとする。
- イ. 応募論文は記念論文査読委員の査読に基づき、記念論文選考委員会で採否を決定する。原則として論文の著者に照会することはしないが、採択決定後に執筆について助言することがある。
- ウ. 記念論文選考委員会は第1部門および第2部門につき、それぞれ下記を限度として受賞論文を選定する。

第1部門： 3件以内

第2部門： 5件以内

上記の受賞論文のうち、特に優秀なもの3件以内を入選論文とし、その他を佳作論文とする。

- エ. 選考結果は昭和54年12月31日までに論文の著者に通知する。
- オ. 選考結果は「創立20周年記念式典」において公表し、受賞論文の表彰を行う。
- カ. 受賞論文は「創立20周年記念会誌」に掲載し、又「創立20周年記念全国大会」において講演発表する。
- キ. 応募論文はIFIP Congress 80の論文と重複しないよう注意すること。重複した場合は受賞を取り消すことがある。
- ク. 入賞しなかった論文は著者の希望により一般論文扱いとする。

## 4. 表彰

- ア. 各入選論文の著者の1人（原則として第一著者）に対しIFIP Congress 80参加費（日本—オーストラリア間交通費、会期中のオーストラリア滞在費、および登録費）を学会が負担する。ただし、参加者はIFIP Congress 80報告書を提出する。
- イ. 各佳作論文の著者の1人（原則として第一著者）に対しIFIP Congress 80登録費を学会が負担する。
- ウ. 受賞論文のすべての著者に対する表彰状および記念品を授与する。
- エ. 受賞論文1編につき論文別刷100部を贈呈する。

## 5. その他

不明の事項については本学会事務局に問合せること。

## Iverson 博士の学術講演会開催のお知らせ

APL プログラム言語の創始者である K. E. Iverson 博士が来日されるので、下記により学術講演会を行います。多数の方がたのご来聴をお待ちしております。

日 時 昭和 54 年 3 月 22 日(木) 13:30~16:30

会 場 機械振興会館 B2 大ホール

参 加 費 会員、非会員を問わず無料とします（ただし、資料のある場合には有料頒布）。

テー マ APL 言語の特長と設計思想

——背景、設計思想、関数と作用子、今後の発展など——

通 訳 竹下 亨（日本アイ・ビー・エム）

## 「論文誌」のご購読について

本年 1 月より発行された「情報処理学会論文誌」（隔月刊）は有料頒布（年間購読料：会員 4,500 円、非会員 7,800 円）となっていますので、昨年の「情報処理」10 月号添付の購読申込書により、お申込みください。現在ならば第 1 号から購読することができます。

## 欧文誌 “JIP” のご購読について

欧文誌 “Journal of Information Processing”（略称 JIP）は、昨年 4 月に創刊されました。第 4 号は 3 月中旬に発行される予定です。購読希望の方は、第 19 卷 1 号あるいは 2 号の本欄の申込用紙をご利用のうえ、お申し込みください。

## 情報処理学会第 20 回全国大会について

- 開催期日 昭和 54 年 7 月 23 日(月), 24 日(火), 25 日(水)
- 会 場 日本大学理工学部(東京都千代田区神田駿河台 1 丁目 8 番地)
- 応募資格 本学会個人会員(正会員, 学生会員)に限ります。共同発表の場合には, 発表者のうち 1 名は会員でなければなりません。ただし, 登壇発表は 1 人 1 回に限り, 54 年度会費未納の会員および非会員は, 登壇発表ができません。
- 申込料 特に必要としません。ただし, 登壇発表される方には論文集原稿を提出される際に, 必ず参加費と論文集の予約金を納入していただきます。
- 申込方法 添付の申込用紙(1 件 1 枚)に必要事項を記入し, 宛先明記の原稿用紙送付用封筒(大きさは B5(18 cm × 26 cm) のもので切手は不要)を同封のうえ, 4 月 16 日(月)(必着のこと)までに下記あてにお送り下さい。
- 論文提出 所定の原稿用紙を 4 月下旬に送付いたしますので, 5 月 31 日(木)までにご提出下さい。なお英文原稿も認めます。
- そ の 他 詳細については, 決定次第本欄にてお知らせします。
- 申込先 ▯ 105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 308-3 号室  
(社)情報処理学会 第 20 回全国大会係 Tel. 03(431) 2808

### 講演内容

1. ハードウェア
  - a. アーキテクチャ
  - b. 入出力装置, 演算, 記憶部
  - c. 端末装置
  - d. マイクロコンピュータ
  - e. 自然言語
2. ソフトウェア
  - a. プログラム言語
  - b. プログラム処理
  - c. オペレーティング・システム
  - d. データ・マネジメント
  - e. ソフトウェア・テクノロジー
  4. 技術, 科学への応用
    - a. パターン認識, 画像処理
    - b. ロボット, 人工知能
    - c. グラフィックス
    - d. CAD, デザイン・オートメーション
    - e. マン・マシン・システム
  5. 社会, 人文, マネジメントへの応用
    - a. シミュレーション, モデリング
    - b. 教育
    - c. 医療
  6. コンピュータ・ネットワーク
  7. 情報検索, データベース
  8. 性能評価
  9. 保守, 信頼性
  10. その他
3. 数理
  - a. アルゴリズム, 形式言語理論
  - b. 数値演算
  - c. 非数値演算
  - d. 最適化法

## 情報処理学会第20回全国大会講演申込用紙

題 目 <sup>(注1)</sup>	
ふりがな 氏名(所属) <sup>(注1)</sup>	申込者が複数の場合には左から右の順に記入し講演する方に○をつけて下さい。
原稿用紙送付先	(所在地) <input type="text"/> (氏名) Tel. <input type="text"/>
該当項目 <span style="float: right;">講演内容 (概要 300字程度)</span>	
1.	a <input type="text"/> b <input type="text"/> c <input type="text"/> d <input type="text"/>
2.	a <input type="text"/> b <input type="text"/> c <input type="text"/> d <input type="text"/> e <input type="text"/>
3.	a <input type="text"/> b <input type="text"/> c <input type="text"/> d <input type="text"/> e <input type="text"/>
4.	a <input type="text"/> b <input type="text"/> c <input type="text"/> d <input type="text"/> e <input type="text"/>
5.	a <input type="text"/> b <input type="text"/> c <input type="text"/>
6.	<input type="text"/>
7.	<input type="text"/>
8.	<input type="text"/>
9.	<input type="text"/>
10.	<input type="text"/>

(注1) 学会誌発表および論文集掲載の「プログラム」は本欄記入事項により作成しますので、題目、氏名はみだりに変更しないで下さい。

(注2) 申込要領を参照し○をつけて下さい。該当項目が複数にわたる場合は、最も適合するもの1つに○をつけて下さい。